

学校だより



稲荷台

令和元年6月28日

7月号

横浜市立稲荷台小学校

創立100周年に向けて

校長 平井 佳江

1921年（大正10年）4月1日 横浜市尋常高等稲荷台小学校開校
同7月19日 開校記念式を挙行 以後、この日が創立記念日となる



稲荷台小学校は、2021年（令和3年）に創立100周年を迎えます。毎年7月9日の前後に、創立記念式を行い、稲荷台小学校の卒業生の方々に、小学校時代の思い出や当時の生活の様子を語っていただいています。今年は、3年後に100周年を迎える稲荷台小学校の変遷を酒井教諭に写真を見ながら、話してもらいました。

開校2年後に発生した関東大震災では校舎はほとんど壊れなかったものの、1945年5月29日の横浜大空襲では、校舎も全焼し、西前小学校を借りて学校を再開しました。その後、1951年に現在の富士見台小学校に横浜市立稲荷台小学校が開校し、1953年に現在の場所に戻ってきたのです。その当時は2部授業で、体育や遊びの際は本校（現富士見台小）まで通ったということです。

100年という長い年月の中で、震災や戦争というつらい歴史を経験しながらも、人々のたゆまぬ努力で地域の学校として、子どもたちを育み続けてきた稲荷台小学校。100歳の誕生日を、子どもたち、保護者、地域の方々、みんなでお祝いしたいと考えています。2021年までに卒業する現5年生、6年生にも子どもたちのアイデアを形にしていってほしいと思います。

今年度からの3年間で「稲荷台小学校創立100周年プロジェクト」期間として、みんなで盛り上げていきましょう。御協力をよろしくお願いいたします。



自分とみんな いいな いいな 稲荷台

